

2015年度 事業計画

1. 事業実施の方針

- スパイリエン州タナオココミュニティでピア・エデュケーション活動とコミュニティセンター内のチャイルド・フレンドリー・スペース（図書室とアクティビティルーム）を拠点とした子どもたちの学びグループ活動を促進します。そして、子どもの活動に対する地域住民の理解を広め「子どもにやさしい地域づくり」を進めます。地域住民自身が子どもたちの活動をサポートできるようにするよう力や態度が身につくように支援します。
- 国内においては、シーライツ・ユースチーム（Youth for Rights）が中心となって『チャイルド・ライツ・プロジェクト』を継続します。若い世代のメンバーのアイディアを活かし、あらたな切り口でセミナーやイベントを開催し、子どもの権利の普及に努めます。

2. 開発途上地域の子どもの支援事業

具体的には、以下の活動を実施します。

(1) カンボジア・プロジェクト

スパイリエン州コンボンロー郡タナオココミュニティにおけるベトナムへの出稼ぎによる子どもの人身売買および児童労働防止事業

啓発活動：

➤ 子ども対象

シーライツ職員が、学校を拠点として活動する子ども代表（「ピア・エデュケーター」）と地域を拠点に活動する「子どもクラブ」（8カ村で結成）に対して、子どもの権利、違法な出稼ぎ・児童労働・人身売買の危険、リプロダクティブ・ヘルスについて啓発活動を行う。

子どもたちは、学んだ知識を子どもから子どもへと伝え、活動を広めていく。

➤ 地域住民・教師・行政対象

タナオココミュニティのキーパーソン（評議会、村長、教師、農業組合役員）を対象に、子どもの権利および教育の重要性について啓発するワークショップを年3回、実施する。

シーライツ職員が家庭訪問を行ったり、教員とミーティングを持ち、子どもたちの通学・出稼ぎの現状を知り、児童労働のリスクがある子どもがいる家庭にはたらきかけたりする。

毎月コンボンロー郡で行われる「女性と子どものための委員会」の会議に参加し、タナオココミュニティのケースを挙げて、子どもの権利が守られるよう問題提起していく。

チャイルド・フレンドリー・スペースの運営と子どもの活動：

チャイルド・フレンドリー・スペース（図書室とアクティビティルーム）を地域住民が組織した「チャイルド・フレンドリー・スペース運営管理委員会」とシーライツが共同で、チャイルド・フレンドリー・スペース（学習室を兼ねた図書室と多目的ルーム）を運営・管理する。図書室兼学習室において、地域の子どものたちが自由に学び、図書に触れ、知識や視野を広げる機会を提供する。多目的ルームでは、子どもたちが集まり、活動の計画を立てたり、情報交換を行ったりするのをシーライツ職員がファシリテートする。

ネットワークづくり、情報収集、モニタリング：

地域住民の農業を通じた収入向上や地域開発を担うために設立されたタナオココミュニティの農業組合と連携をはかる。また、モニタリングやネットワーキングを通じて、ベトナムへの違法な出稼ぎの状況や他地域・他団体の活動の情報も収集する。

(2) シーライツトレード・プロジェクト

アフゼシップ、フレンズの商品を中心に仕入れを行い、イベントや会報等を通して販売する。その

ほか、子どもや女性の自立支援を行う他団体・施設における、日本の消費者のニーズに合った商品（フェアトレード商品）を調達。

2015年度売上目標 50,000円 10月上旬グローバルフェスタ JAPAN2015（於：日比谷公園）

（3）ネパール大地震緊急支援

2015年4月25日に発生したネパール大地震の被災者支援と復興のため、日本国内で支援金を募る。支援金は、人身売買や児童労働のリスクが高い女性と子どもの保護やケア活動を行うネパールの2つのNGO（CWINとMaiti Nepal）に送るとともに、代表理事の甲斐田が年に2回現地をモニタリングする。

3. 発展途上地域の子どもの権利状況に関する調査・研究・発信事業及び開発教育事業

（1）報告会・ワークショップ開催（以下は、現在確定しているもののみ。今後追加の予定。）

①イベント・講演会の開催

②講師派遣

他団体主催の講演会、学校などへ講師派遣を随時行う

（2）広報活動

①会報

プロジェクトや活動の状況を報告し、子どもの権利を普及する目的で、年3回（6月、12月、3月）発行する。

②年次報告書

10月（予定）に、2014年度年次報告書を発行、会員・寄付者に送付する。

③ホームページ

イベント情報提供、その他子どもの権利に関する情報の提供、シーライツ関係者による記事の掲載。

④ブログ

カンボジアだより：カンボジアの子どもたちの状況や活動内容について情報発信。

お知らせ／ユース・ボランティア：国内での活動内容について情報発信。

④メールマガジンの配信

イベントに合わせたタイミングで不定期でメールアドレス登録者にメールマガジンを配信。

イベントのほか、活動報告も掲載（ブログへのリンク）。

⑤ツイッター、フェイスブック

国内外の子どもの状況、カンボジア事業や国内事業の報告、イベント情報について広く発信。

（3）出版・制作

これまで出版した書籍などの販売を促進する。

（4）イベント参加（出展）

日付	名称・内容	会場
10月上旬	グローバルフェスタ JAPAN2015	日比谷公園（東京）

（5）スタディツアー

目的 ①カンボジアの子どもの現状について理解を深める

②シーライツの活動を理解してもらい、帰国後に広めてもらう

実施スケジュール

	期間	訪問地	内容	定員
第 17 回	2 月 (予定) (5 泊 7 日)	カンボジア (スバイリエン、 プノンペン、シェムリアップ)	プロジェクトの視察、現地パート ナーNGO の訪問、観光	12 名

4. 国連子どもの権利条約の普及事業、及び子どもの権利促進事業

国連子どもの権利条約の普及・促進事業

(1) チャイルド・ライツ・プロジェクト

コーディネーターの南雲理事のもと、シーライツ・ユースチーム (Youth for Rights) が運営主体となりチャイルド・ライツ・プロジェクトを実施し、日本国内で子どもの権利を普及する。その一環として、年間を通じて 3 回セミナーを開催するほか、子どもの権利を学びあうユースグループの活動を広げる。内部学習会とミーティングも毎月開催し、ユースが子どもの権利啓発のための活動者 (ex アドボケーター) として育つことをめざす。そして、将来はユースが子どもの権利ワークショップなどのファシリテーターとして、講師派遣できることもめざす。

日付	名称・内容	会場	管轄
6 月 6 日	セミナー「国際協力と子どもの権利 (仮)」 「ストップ! 児童労働キャンペーン 2015」賛同イベント	東京	東京事務所

(2) 子どもの権利条約フォーラム in 石巻 2015

毎年開かれる子どもの権利条約フォーラムが、今年は宮城県石巻市で 11 月 21、22 日に開かれる。子どもの権利を国際的な視点から伝える分科会の参加を検討する。

5. 国際・国内団体とのネットワーク事業

(1) 国際・国内団体とのネットワーク事業

①参加ネットワーク団体

- ・(特活)国際協力 NGO センター (JANIC) の正会員を継続
- ・児童労働ネットワークの団体正会員を継続
- ・カンボジア市民フォーラムの会員を継続 (共同代表として)
- ・東日本大震災子ども支援ネットワーク継続 (運営委員として)
- ・人身売買禁止ネットワーク (JNATIP) の会員を継続

6. その他、この団体の目的を達成するために必要な事業

(1) 理事会の運営

年 4 回、東京事務所等にて理事会を開催、理事会メンバーリストで随時情報交換と承認を行う。

4/25 (土)	第 41 回理事会 開催場所：東京事務所 議題：2014 年度決算案、2015 年度事業計画案ほか
5/30 (土)	第 42 回理事会 開催場所：東京ウィメンズプラザ 議題：事務局長の任命ほか
10 月頃	第 43 回理事会 開催場所：東京事務所

	議題：上半期決算ほか
2月頃	第44回理事会 開催場所：東京事務所 議題：2016年度の事業計画・予算案ほか

(2) 各事務所の組織運営

東京事務所	2名のスタッフが事務作業（会員管理、会計、問合せ対応、助成金申請、総務労務、広報、シーライツトレード事業等）を分担。子どもの権利コーディネーターおよびインターンが、ボランティアコーディネートなどに従事。
カンボジア事務所	カンボジア人スタッフ2名で業務を遂行。

(3) 資金調達

①助成金・補助金

[採択・申請予定]

団体名・助成金名	金額	助成内容
WE21 ジャパン各支部	184万円（決定）	カンボジア事業（スバイリエン州/出稼ぎによる子どもの人身売買・児童労働防止事業）
今井記念海外協力基金	98万5千円（決定）	カンボジア事業（スバイリエン州/出稼ぎによる子どもの人身売買・児童労働防止事業）
浄土宗平和協会	70万円（申請中）	カンボジア事業（スバイリエン州/出稼ぎによる子どもの人身売買・児童労働防止事業）
子どもの人権連	10万円（申請中）	国内の子どもの権利普及事業（チャイルド・ライツ・プロジェクト）

②団体大口寄付（10万円以上）

寄付者	金額	指定寄付内容
尚綱学院大学	24万円（決定）	カンボジア事業（スバイリエン州/出稼ぎによる子どもの人身取売買・児童労働防止事業）

③会員

個人会員：チャイルド・ライツ・プロジェクトによるブランディングおよび、魅力ある広報により継続率を高めることを目標とする。

法人会員：新規入会を数団体増やすことを目標とする。

④マンスリーサポーター

2014年度末の登録者数99名を2015年度末までに150名に増やすことを目標とする。

⑤ユース中心のファンドレイジング

学生ボランティアが主体となり、いくつかの方法でファンドレイジングにチャレンジする。

以上